

平成 25 年度 事業報告書

平成 25 年 7 月 1 日から平成 26 年 6 月 30 日まで

特定非営利活動法人

アジアン・エイジング・ビジネスセンター

1 事業の成果

平成 25 年度の我が国経済は、「大胆な金融政策」「機動的な財政政策」「民間投資に喚起する成長戦略」の『三つの矢（アベノミクス）』による一体的な取り組みの政策効果から、消費マインドの好転や内需を中心とした景気回復の動きが広がってきました。

この様な状況の中で、特定非営利活動法人アジアン・エイジング・ビジネスセンターでは、アジアの高齢化問題及び福岡市の高齢化対応のまちづくりに関する各種の取り組みを行い、高齢化が国際的な課題であること、また、その解決にあたっては我が国の経験・ノウハウが重要な役割を果たすことをさまざまな層にアピールすることができた。

2 事業の実施に関する事項

該当する事業区分	事業名	実施時期	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
3・4・5	疾病管理普及事業（カルナ）	通年	福岡県	2名	不特定多数	22
1・2・3・5	アイランドシティ生涯 すこやか街づくり協議会事業	通年	福岡市	1名	不特定多数	500
1・2・3・4	福岡アジア高齢社会 デザイン協議会事業	通年	福岡市 上海市・釜山市	2名	50名	439
1・6	エイジング・ツーリズム	通年	福岡市	2名	60名	882
2・3・4	アジア太平洋 越境ケア人材養成連携事業	通年	福岡市	3名	50名	2,544
1・2・3・4	2030年代をみすえた 機能統合型コミュニティ形成技術	通年	福岡市	3名	100名	13,335
2・3・4	日本とインドネシアの高齢者介護認 証基準の調和化事業	通年	福岡市 インドネシア	2名	50名	1,099

～ A A B C の定款に定める事業区分～

1. エイジングに対応したまちづくりのための調査研究及び事業の企画実施
2. アジア地域におけるエイジング情報の収集・発信
3. アジア地域におけるエイジングに関する公共政策研究者とのコンソーシアムの支援
4. アジア地域のエイジングに取り組む民間団体とのネットワークの構築
5. アジア地域におけるエイジングビジネスの調査研究及び開発
6. アジア地域におけるエイジング研修ツアーの企画実施

以上